

「東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会」 ニュースレター 第11号

協議会事務局（中部地方整備局河川部）
平成20年3月**日発行

【第2回現地ウォッチング結果報告】



- 開催日時：平成20年2月18日（月）13:30～17:00
- 開催場所：名古屋港近郊
- 参加人数：17名（大同工業大学の鷲見哲也准教授に参加頂きました）



日光川下流より日光川水こう門を望む

■日光川排水機場の排水能力

日光川排水機場は、高潮等により外潮位が高くなり、河口の水門を閉鎖した場合の排水を目的とするものであり、既往最高の伊勢湾台風の実績潮位T. P. +3.89mの場合にも排水できるよう、計画されております。隣接する農林水産部管理の日光川河口排水機場と合わせて毎秒200m³/s（外潮位の低い時には毎秒300m³/s）の排水能力を有します。（愛知県海部建設事務所 HP より、<http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-somu/ama-kensetsu/nikkou-p.files/nikkou-p.htm>）



模型による排水機場の解説



制御フロアからの見学



排水施設動力部

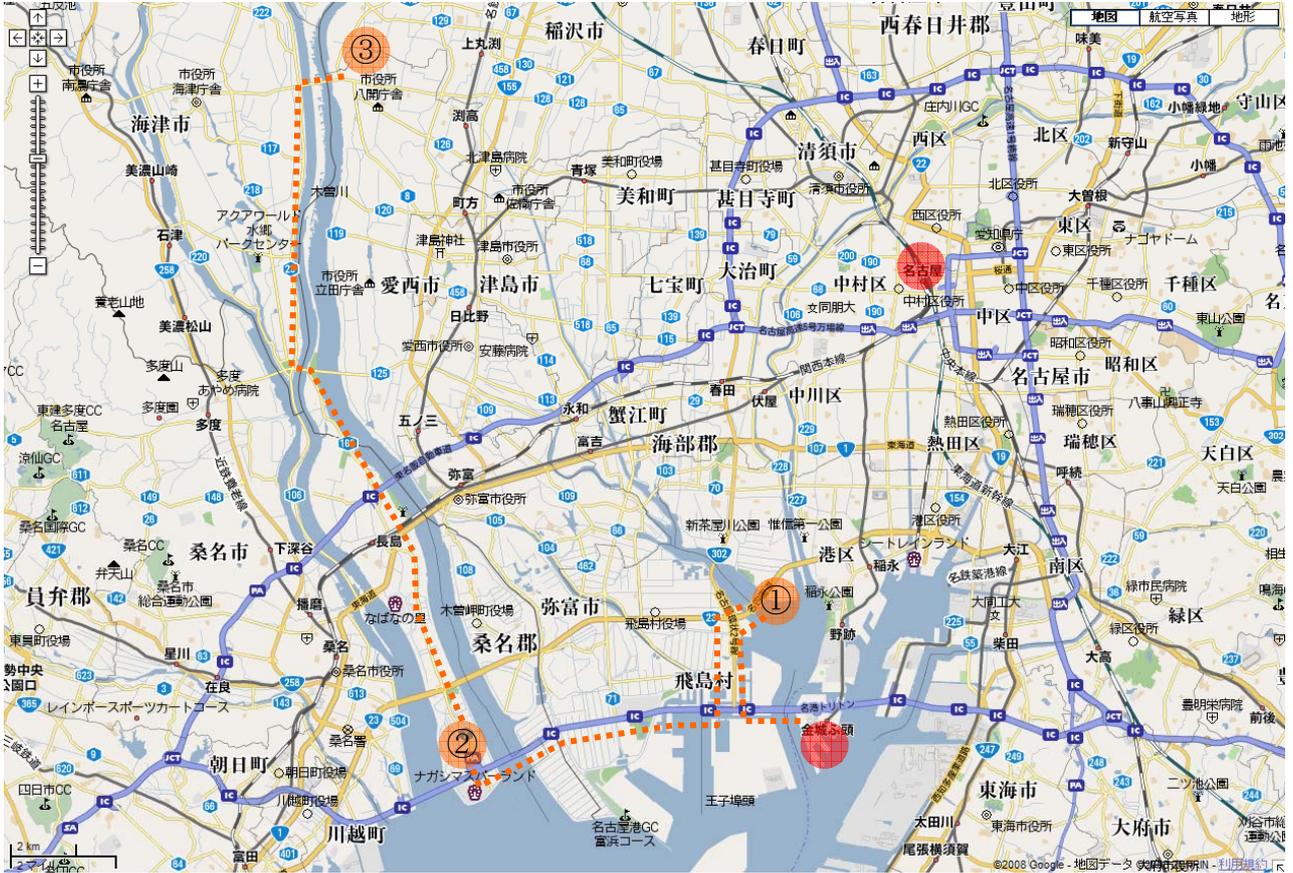
■第2回現地ウォッチング参加組織

中部地方整備局、岐阜県県土整備部、愛知県建設部、名古屋市緑政土木局、名古屋地方气象台、愛西市、名古屋港管理組合、四日市港管理組合

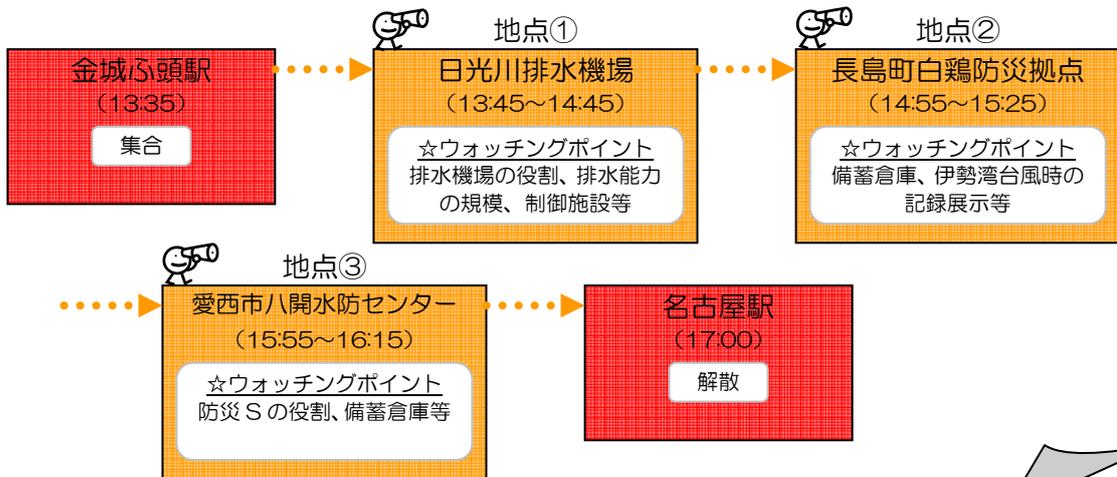
■第2回現地ウォッチングの概要(その1)

1. 視察コースと行程

視察コース図 (出典: Google Maps)



行程



■第2回現地ウォッチングの概要(その2)

2. 現地ウォッチングの様子

地点①の日光川排水機場では、排水機場の役割や排水エリアのご説明をいただき、施設内では制御室、排水ポンプ、屋外では日光川水こう門の見学を行い、ゼロメートル地帯の排水に対する理解を深めました。地点②の長島町白鷄防災拠点では、備蓄倉庫（1F）、伊勢湾台風当時の記録（2F）、展望台（3F）の見学を行いました。また、道中では伊勢湾沿いに建設中の高潮堤防に関するご説明をいただき、高潮に対する備えについての理解を深めました。地点③の愛西市八開水防センターでは、災害時の活動拠点となること等をご説明をいただき、備蓄倉庫、ヘリポート等の見学を行いました。



日光川河口排水機場（地点①）でのウォッチングの様子



長島町白鷄防災拠点（地点②）でのウォッチングの様子



木曾川高畑地区河川防災ステーション（地点③）でのウォッチングの様子